

Our
Tosho

巻頭特集 環境都市・東京で五輪開催を
対談／猪瀬直樹・東京副都知事と東商女性会吉川会長

「共生（ともいき）のこころ」展

私の取材ノート

～『その時歴史が動いた』の現場から～
松平定知氏講演会

2008 サマーセミナー

関商女性連総会 浦安大会／東商サミット130／東商園遊会
東商女性会会員総会／女性会各部の活動／ぶらり東京 他

第14号 2008.11

東商 LADY

Lady



東京オリツピックの実現で、 環境に配慮、成熟した東京を 世界にアピール。

民間初の副知事就任で話題となった作家の猪瀬直樹さん。

東京都副知事就任から1年を経て、東京オリツピック招致や環境問題、地方への税源移譲など、

果敢に取り組む姿は、常にポジティブ思考で、組織と闘う戦士そのもの。

そんな猪瀬副知事に、

話題の東京オリツピック招致や雇用問題、女性経営者について

吉川会長が伺いました。

縦割り行政を打破すること その難題にも着手する

吉川…副知事になられて1年以上経ちますが、1年を振り返っての率直なご感想はいかがですか？
猪瀬…いやあ、まだまだですね。とにかく東京都という組織は規模がでかい

し、広いし、人も多い。縦割り行政だから、なかなか思うようにいかない面もありますね。一つ一つの部署が会社みたいになっていて、何がどこまで進んでいるかわからない。それを把握するまでに時間がかかる。だからブレインからは『この縦割りを何とかしてよ、猪瀬さん！』って、よくハツパをかけられるんですよ(笑)。

吉川…でも、その縦割り行政に風穴を開けるのが猪瀬さん流のやり方で、石原都知事も都民も期待しているところだと思いますが。
猪瀬…例えば、東京オリツピックの招致については、招致本部という部署が取りまとめている、環境局が『緑の東京10年計画』というスローガンで環境型のオリツピックのために動いてい

る。招致は招致、環境は環境と別々の局が担当しているわけ。だから、伝えることがバラバラで一貫性がなくなる。環境オリツピックの実現という一つのことを違う部署がバラバラにやっているから、一本の筋が通って切っていない。だから、都民にうまく伝わらないですよ。それを、一丸となってやっつけていかなくちやダメなんです。



猪瀬直樹(いのせ・なおき)／プロフィール

作家。東京副都知事。1946年、長野県生まれ。1987年『ミカドの肖像』で第18回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。『日本国の研究』で1996年度文藝春秋読者賞受賞。以降、特殊法人などの廃止・民営化に取り組み、2002年、小泉首相より道路関係四公団民営化推進委員会委員に任命される。政府税制調査会委員、東京大学客員教授、東京工業大学特任教授、2007年6月、副知事に任命される。最新刊は『霞が関「解体」戦争』(草思社)。

吉川：今一つ、東京都民の盛り上がり
に欠けているような印象があるんです
が、それを打開するために、具体的に
猪瀬さんはどんな動きをされたんで
しょうか？

猪瀬：石原都知事から、「オリンピック
招致のためのちゃんとしたPRツール
を作ってほしい」と依頼があつて、東
京の魅力を海外へ紹介するものを、僕
が陣頭指揮を取って作りました。いま
でPRツールがなかったこと自体が不
思議なんですけど、今回は、大手代理
店から個人事務所まで10社ぐらいに公
募して、ディレクターの実績と企画重
視でコンペをしたんです。制作スタッ
フからBGM、撮影までとことんこだ
わりました。これは都としてはかなり
画期的な出来事でした。

吉川：(ガイドブックを見て)写真がと
てもきれいで見入ってしまいますね。
東京の文化や繊細さが見事に表現され
ていますね。

猪瀬：見ていただければわかるように、
東京には江戸文化や伝統工芸、四季
折々の風景や食文化など、繊細さもあ
りつつ最先端都市といういろいろな顔

を持つているんです。東京のレストラ
ンがミシュランで三ツ星を取ったよう
に、東京の食文化は今や世界一。これだ
け世界中の料理を美味しく食べられる
都市は世界で東京だけです。日本人の
美意識、デリケートな味に対するこだ
わり、東京が世界に誇れるものはたく
さんあるんです。だから、もつと東京
に自信を持つてほしいんです。この素
晴らしさを世界中にアピールするべき
だと思つて今回DVDを作ったんです。



DVD「TOKYO COLORS」は(本編約15分、ダイジェスト約4分、
8言語9種類)と、「FUTURE'S SET TO TOKYO」(本編約12分、
ダイジェスト約4分30秒、6言語7種類)の2種類。あわせて、
観光ガイドブック「TOKYO COLORS」(4言語)も制作。

吉川：おっしゃる通りですね。私たち
が見ても東京のよさを再認識できる内

容になっていきますね。このツールがあ
ることを都民も知つてほしいですね。

猪瀬：DVDの本編とダイジェスト版
は東京都のホームページからダウン
ロードできるようになつていたので、
どんどん利用してほしいと思つていま
す。(http://www.metro.tokyo.jp/SUB/
MOVIE/index.htm)

目指すは成熟した環境都市東京 『都市型オリンピック』

吉川：「海の森」プロジェクトが進めら
れていると聞きましたが、あれも東京
オリンピックのための構想なのでしょ
うか。

猪瀬：「海の森」構想は、東京湾の中央
防波堤内側のごみ埋め立て地にシイノ
キなど50万本を植えて、造成地を森に
変えるという計画。建築家の安藤忠雄
さんの発案で「環境オリンピック」に
向けた全体構想の一環です。「海の森」
ができれば、海風を呼び込んでヒート
アイランド現象を防止することもでき
る。招致に成功すれば、馬術やカヌー
競技などの会場にも利用できます。そ

して、「海の森」と並行して、都心にあ
る50万本の並木を100万本に増やし、小
学校の校庭を芝生にする。こうして東
京に緑を増やして、環境都市になつた
東京でオリンピックをやりましょう、
ということなんです。

吉川：前回のオリンピックとの違いは
やはり環境に配慮したという点なん
ですね。

猪瀬：都民のみなさんが「なぜ、今東
京オリンピックなの？」って疑問に思つ
ているかもしれません。でも、今だか
らこそやる意義があるんです。

昭和39年の東京オリンピックは、高
度経済成長期に行われた発展型のオリ
ンピック。まさに、イケイケドンド
ン！でした。日本の目覚ましい経済成
長を遂げるきっかけになつたのが前回
の東京オリンピックとすれば、今回の
オリンピックは、経済的に環境的にも
すべてに成熟した東京という都市を、
世界にアピールするいい機会なん
です。1988年のソウルや今回の北京のよう
な途上国型のオリンピックでない「都
市型オリンピック」のモデルを示すこ
とができる。だからこそ、東京の成熟

さを実現するためにも、環境への配慮が重要なんです。渋滞緩和してCO₂を削減したり、太陽光発電の選手村を作って温暖化防止へも配慮する。それが、今回の目指す「都市型オリンピック」の姿だと思っています。

太陽光発電の普及、CO₂削減に向けて 都の方針と対策も万全に

吉川…太陽光発電の選手村はとて面白い構想ですね。

猪瀬…かつては日本が太陽光発電では世界のトップだったんですよ。それがいつのまにかドイツに抜かれてしまった。国の自然エネルギー政策が遅れてしまった。ドイツ政府は、企業や家庭が太陽光で発電した電力を、電力会社が市場より割高な価格で買い取ることが義務づけている。20年間この価格での買い取りを保証されるので、太陽光パネルの設置費用は10年で回収でき、あとは利益になる。国民がこぞって設備を導入した。だから世界一になれたんです。

吉川…東京都は太陽光発電に対してど

んな対策をとっているのでしょうか。

猪瀬…東京都では太陽光発電装置を設置する際に、2年間で4万世帯に対して、最高1戸30万円の補助金を出すことにしました。太陽光発電の設置には、国からも30万円の補助が出るし、区によって金額の上限が違います。さらなる助成金もあります。例えば、今まで設置に200万円かかるところを、普及によって価格も下がれば、補助金を最大限利用して100万円ぐらいで導入することができます。時間がかることですが、こうして一步一步進めていくことが行政の役割だと思います。

吉川…東京都はCO₂の削減にも取り組んでいくと聞きましたが。

猪瀬…「環境確保条例改正案」が東京都議会でも可決され、実施が決定しました。これは、CO₂を排出する大規模な事業所に対する削減の義務付けをする条例です。これによって20年までに東京都でCO₂を25%削減するという目標を立てました。国が掲げている「2050年までに」なんていう遠い先の話じゃなく、あと10年ちょっとで実現していこうと、全国に先駆けて具体的な目標と対

策を打ち出したわけですね。

経済効果は3兆円!? 観光客の増加がキーワード

吉川…2016年に東京オリンピックが実現した場合、その経済効果はどのくらいなのでしょう？

猪瀬…石原都知事は3兆円と言っていますが、間違いなく観光客が増えますから、それなりの経済効果があると考えています。東京を訪れる外国人観光客は年々増えていて、2007年は533万人。これを2016年には100万人にすることを目標にしています。

吉川…昨年の倍の観光客を見込んでるということですか。かなり大変な数字にも思えますが。



猪瀬…僕は実現可能な数字だと思っています。北海道のニセコを思い出してみてください。今、冬になるとニセコにオーストラリア人が殺到していますね。あの現象は、9・11テロがきっかけで、それまでヨーロッパにスキーに出かけていたオーストラリア人が海外旅行に行きにくくなって、より安全で時差が少ない北海道に行ったのが発端。以来、スキー場はにぎわい、ペンションも増えて、経済効果もアップし、町の復興にも一役買っています。一度いいところだと認識されれば観光客は増えます。東京を知ったら、別の都市にも興味が沸いて行きたくなる。そうやって、東京をきっかけに日本全体に観光客が増えればいいんです。

吉川…いろいろな会合で外国の方と接する機会が多いと思いますが、東京の印象はいかがでしょうか。

猪瀬…先日、中国の天津で開かれた「夏のダボス会議」に参加したんです。冬のダボス会議（スイス）は有名ですが、夏にも世界各国の企業トップや政府のリーダーが集まり、世界経済フォーラムが行われるんです。そこで出会った

ロシアの大富豪が、東京のことを大絶賛していたんです。「ホテルも快適で、サービスも行き届いていて、素晴らしい!! 食べ物ほどの料理も美味しくて、街も奇麗で最高!! もう一度東京に行きたい!!」ってこの言葉はすごく嬉しかったし、自信をさらに強くしました。

明るい東京＝日本のために常に、ポジティブ思考で!

吉川…最近、世界的な金融不安もあって、社会全体が暗いような気がするんですが、その辺はどうお感じですか。

猪瀬…はつきり言って、テレビのコメンテーターが「ダメだ!ダメだ!」と否定ばかりして、何も提案してないからダメなんですよ。「もっとここをよくすればいい」とか建設的な提案をしないと、日本はよくならない。もっとポジティブな議論をしていかないと、国民全体が下を向いて歩いているような国になってしまいますよ。

吉川…雇用問題も表面化してきましたが、都としての対策を教えてください。猪瀬…例えば、ネットカフェ難民を雇

用した企業に、補助金を出すといった格差を固定しないように、少しずつでも働く意欲のある人を社会復帰させ、夢を与えて、ちゃんとフォローしていくことが大事だと思います。

吉川…猪瀬副知事のこれまでの取り組みを見ていると、いつも国や組織と闘っているという印象があるんですが、その原動力はどこにあるんでしょうか?

猪瀬…「そんなことできない、無理だろう」って思うことをやってみる。問題があったら建設的な意見で変えていかないと、日本はよくならないと僕は思うんですよ。道路公団の民営化だった、実現不可能だと散々なことを言われました。でも、いざ民営化してみたら、今はどうなったか? サービスエリ



アはきれいになって、美味しい飲食店も増えて利用しやすくなりました。今まで毎年3月に予算消化していた人たちも、会社組織にしたとたんに決算で結果を求められるようになる。経費削減をし、利益を増やさなければいけなくなる。予算が決算になるという感覚を持つだけでも、道路公団で働く人の意識変革になったと思うんです。

吉川…現在でも政府税制調査会と地方分権改革推進委員会の委員をされているらしいですね。

猪瀬…地方分権改革推進委員会はすごい熱い委員会(笑)。毎週1回3時間、年50回も会合をしていますからね。委員全員でケンケンガクガク。国の無駄な二重行政のチェックや、地方への権限委譲など、これからもどんどん国と闘っていきます。

元気な東京にするために女性の活躍に期待

吉川…最後に、私たち東京商工会議所の女性経営者に期待すること、メッセージをいただけますか。

猪瀬…僕はずっと働く女性の味方ですから。「男の顔は履歴書」と言われたけれど、いま仕事をする女性が多いので、「女の顔は履歴書」の時代になった。働いていると職業の年輪が顔に出るんです。考えてみれば、日本の女性は江戸時代から明治、大正と、町工場や商店等ですと働いていたんです。

それが、戦後の高度経済成長期に「専業主婦ブーム」みたいな現象が起こって、女性は家にいるべき、というような風潮が強くなった。それはごくごく最近のことなんです。女性はずっと働いてきたという歴史があって、僕は女性のパワーにはいつも期待しているんです。女性社長がもつとがんばれば、男性の刺激になる。元気な東京になるためにも、これからもみなさんの活躍に期待しています。

吉川…今日はお忙しいところ、貴重なお話ありがとうございました。これから、私たちも東京オリンピック招致、そして東京を元気にしていくために何かお役に立つような活動をしていきたいと思えます。



「共生（ともいき）のこころ」展

～地球環境・災害共助・教育再生を考える～

開催日 平成20年6月20日(金)～22日(日)
会場 新宿駅西口広場イベントコーナー
主催 東京商工会議所女性会
共催 東京都
後援 環境省・外務省
協賛 各社

東京商工会議所女性会は、本年6月20日から22日までの3日間、新宿駅西口広場イベントコーナーに於いて「共生（ともいき）のこころ」展「地球環境・災害共助・教育再生を考える」を開催致しました。

東京商工会議所が明治11年3月に設立され創立130周年を迎える記念すべき年にあたります。

長きに亘る我が国の近代化の歴史を顧みるとき、東京商工会議所の果たしてきた役割の大きさに深い感慨を覚えます。その長い歴史の中に在って、東京商工会議所女性会も、来年初立60周年を迎えます。その前年である本年、東京商工会議所創立130周年記念事業として、女性会会員による社会貢献活動「共生（ともいき）のこころ」展が開催されました。開催にあ

り、東京都、環境省、外務省、東京商工会議所本体をはじめ、多くの企業、団体の皆様にご協力頂きました。「共生（ともいき）のこころ」展の開催に至るまでの経緯の中で、当初よりビッグ・イベントということになり、幾多の紆余曲折を経ました。しかしながら、吉川会長、阿久津扶見副会長、井上象英副会長、清水洋子リーダー、小林栄子リーダーの強いリーダーシップのもと、会員各位が意志を一にし、一丸となって結集できた事が女性会として新たな歴史のページを開く結果に繋がったのではないかと思います。

昨年、東京商工会議所第20代会頭に就任なさった岡村正会頭は、「『個』が光るイノベーション」を提唱なさいました。

同年東商女性会会長に就任された吉川会長も、女性会の行動理念として「報恩」「感謝」「育成」と提唱しており、「競争から協調へ」「共生・調和の社会の実現に向けての努力こそ、今の時代に課せられた使命であり、女性会としてのイノベーションに繋がる、と話しておられます。今回のイベントは、この実現に向けての第一歩

を踏み出したと言えるのではないのでしょうか。



初日のオープニングセレモニーから最終日に至るまで、実に多くのドラマが展開されました。新宿駅西口イベント広場での一期一会の出会いの中から「共生（ともいき）のこころ」を実感して下さった方々の心の輪が広がって行きますよう、願って止みません。

なお、「共生（ともいき）のこころ」展につきましては、のちほど別冊で詳細をご覧ください。

オープニングセレモニー

会場では、当日午前11時30分より「共生（ともいき）のこころ」展オープニングセレモニーが行われ、来賓によるご挨拶とテープカット、続いて内覧会が行われました。

セキュリティの為、会場内のすべてのドアが閉鎖され、警備隊が内外に配置されました。来賓の到着を待つ間は、かなりの緊張感が場内を支配していました。400坪程の西口広場は、いつになく黒服の男性で溢れかえっております。私達女性のメンバーは暑苦しさには耐えながら、ほどぼり出る顔の汗をぬぐいもせず、ひたすら自分の持ち場を死守しておりました。

テープカット参加者（敬称略）

環境大臣 鴨下一郎、東京都知事 石原慎太郎、東京商工会議所特別顧問・環境委員長 市野紀生、三菱地所株式会社 取締役相談役 高木茂、東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 清野智、アルピニスト 野口健、写真家 リサ・ヴォート&シロクマくん、日本救助犬協会会長 青山侑、東京商工会議所女性会 名誉会長 小泉清子、東京商工会議所女性会 名誉会長 齋藤朝子、東京商工会議所女性会 会長 吉川稲美



吉川会長が主催者として挨拶され、続いて石原都知事、鴨下環境大臣、市野東京商工会議所特別顧問から、それぞれご挨拶がありました。テープカットの後、来賓の方々は場内の各ブース、コーナーを周遊されました。特に、七タコーナーでは、短冊に願い事を書いて下さいましたが、テレビのニュース、翌日の新聞朝刊等のマスメディアに取り上げられていました。セレモニー終了後、来賓の中には、時間をオーバーして場内に留まり、大変楽しんでおられる様子でした。

その後、セキュリティの為閉じられていたすべてのドアが開放されるとともに、イベント広場としての会場が一般公開され、本格的に「共生（ともいき）のこころ」展がスタート致しました。参議院議員、中山恭子先生もご公務でご多忙の中、会場へ駆けつけてくださいました。

〈将来の子供達へ、そして未来の地球へのメッセージ〉 — 会場の人気者たち —

モリゾーとキッコロ

愛知万博で初登場した彼らは、今回環境省のイメージキャラクターとして会場内を周遊し、子供達や若い女性に大人気。記念撮影をしたり、握手をしたり大活躍でした。



シロクマくん

リサ・ヴォートさんのマネージヤルが着ぐるみの中に入っている



っしゃるのですが、ポラー・ベアー（英語）は、地球温暖化による北極海水の溶解による影響を最も強く受け、絶滅の危機に瀕しつつある、というメッセージを私達に伝えてくれました。

救助犬

阪神・淡路大震災時には日本に一匹の救助犬もいませんでした。その後、震災時に活躍する救助犬を育成し、災害救助犬として各被災地で大活躍しています。



大変賢い素敵な人間のパートナーです。皆、普通の家庭で飼われている愛犬達で、会のメンバーでもある飼い主さん達のボランティア精神によって支えられています。土曜・日曜の両日は、親子連れの来場者到大変人気があり、デモンストラーションでは、子供さん達の積極的な参加によりとても楽しい雰囲気になりました。

〈ともに生きる私たちが、あなたのためにできること〉〈Ecoオリンピックを目指そう〉

七夕笹飾り、短冊

会場を入れてすぐ右に七夕コーナーが設置されていました。来場者の皆様に願い事を書いていただきました。



老若男女がひっきりなしに訪れては願い事を書き連ねるといって、昔懐かしいシーンが再現されました。親子連れの来訪者も多く、10本近くあった笹もあっという間に、枝が短冊の重みでしなっとなって行きました。外国からの旅行者の方も英語で願い事を書き、笹にさげて日本文化を楽しんでいたことがこのコーナーでの女性会担当者の活躍は目覚しく、笑顔での対応は、大変好感を持たれたものと思います。ここで書かれた短冊の一部はその後、北海道洞爺湖サミットへ届けられます。

災害地域の物産展とボランティアネットワーク

震災にみまわれた新潟県や石川県の方々による物産展では、各所

で連日完売が続きました。輪島塗などの高級漆器も販売され、大変な賑わいでした。



新鮮な生鮮食品等の産地からの直送品に人気が集申し、買い損なつた方も多かった様です。また、防災グッズの販売や災害の際に役立つ情報、身を守るための智恵を紹介するコーナー等についても来場者の関心は高く、質問に答える女性会員もおられました。

また、防災グッズの販売や災害の際に役立つ情報、身を守るための智恵を紹介するコーナー等についても来場者の関心は高く、質問に答える女性会員もおられました。



2016年東京オリンピックを招致

招致委員会のブースでは、1964年の東京オリンピックで聖火ランナーが実際に使用したトーチを持つての記念撮影や、バッジが当たるクイズなどが楽しめ、東京オリンピックを知らない世代の人達も、当時の公式ポスター、開会式の写真などに興味深く見入っていました。

「共生（ともいき）のこころ」展

【出店者様のご感想】

私は、初めてこのような形の物産展に参加したのですが、イベントの趣旨を聞かないまま参加してしまつたため、石原慎太郎都知事のご挨拶を聞いて驚きました。とはいえ、多くの方においでいただき、震災に負けずに前向きな輪島塗関係者の気持ちを知つて戴けたことに満足しています。

今回、東京商工会議所女性会のごような企画に参加して僕自身も勉強になりました。

東京商工会議所女性会の皆様並びに、スタッフの皆様、大変御疲れ様でした。

また、このような機会がありましたら、ぜひ参加させて下さい。これをご縁に、輪島塗を今後とも末長くご愛好賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記：（輪島市）川崎哲史

【スタッフからの感想】

私は開催2日目の女性会グッズ（防災関連グッズ）の販売コーナーを担当いたしました。

開催をテレビなどで見て来た人もあつたのでしょうか、初日より多くの訪問者があつた様に感じました。地震や災害のニュースは毎日のように報道されているにもかかわらず、イベント広場の前を通る人の多くは、今起きている地震や災害は自分の事ではなく対岸の火事と捉えているかのように、災害共助ブースに関心を持つ人は少なく、メディアの報道と、人々の意識の格差を感じました。今回のイベントの展示方法の良し悪しに関わらず、今後人々の災害共助への関心をもっと高める呼びかけについて、方法論も含め防災運動への一つの問題提議を感じました。

一方、販売を担当された会員さんは、初日の反省を踏まえ、いかにしたらより売れるかとの創意工夫を話し合い、改善した成果は、翌日即結果に表れました。これは、担当者全員が一丸となつて臨んだ行動がなせる業です。ただひたすら、このイベントの成功を願つて一生懸命になつている会員の素敵なお顔を見ていて、頭が下がりました。会員の皆様は全員一國の長、又はそれに準ずる方々ばかりです。夫々に業種も職種も違う方々が心をついにした、チームワークの素晴らしさを体感した一日でした。

記：（理事）高橋亜紀子

「共生(ともいき)のこころ」展

会場マップ

アルピニスト野口健さんの環境保護への活動の様子を紹介

アルピニストとして、またヒマラヤ清掃登山を實踐して、登山家のモラルを世に問いかけていることでも有名な、野口健さんの特設コーナーです。

ヒマラヤから持ち帰られたゴミの中には、まだほんのりと臭気を放つものもあり、かなりリアリティーがありました。富士山に投棄されたゴミを清掃するボランティアの写真もパネル展示されていました。コーナー外側に積み上げられた投棄された酸素ボンベの山には誰もが驚いた様子です。



企業パネル展示コーナー

多数のご協賛有難うございました

東京商工会議所女性会ブース

「参加会員紹介」のコーナー
女性会の歩みと歴代会長を
パネルで展示しました。



リサ・ヴォート写真展

写真家としての活躍。北極のシロクマの写真映像はどれも美しく、それが、地球温暖化による北極海に住む動物達の危機的状況を訴えている写真であるとは直ぐには解りませんでした。リサさんの英語を交えたトークによってシロクマの置かれた現実が良く解りました。

東京藝術大学の学生によって作られた等身大のシロクマと記念撮影する人も…。



特設ステージ

- 被災体験者に取材した生の声を伝える
- リサ・ヴォートトークショー
- 災害救助犬の紹介とデモンストレーション
- 参加体験型 サービスケアアテンダント

7月開催の北海道洞爺湖サミットの紹介

東京商工会議所 ECO検定紹介ブース

2016年東京オリンピックにむけての取り組み

環境負荷軽減・再利用型の施設運営の考え方を紹介
「大会の歴史を振り返り世界平和と国際協調について考える」

七夕笹飾り



短冊を来場の方々に書いてもらう参加型プログラム

「被災者支援のボランティアネットワーク」のコーナー

- 女性の特性を生かした被災者支援ボランティア組織の設立趣意を発表
- 被災地の現状の紹介
 - 被災地を応援、地場の特産品の販売

モリゾーとキッコロの 出現ポイント

松平定知氏

私の取材ノート

『その時歴史は動いた』の現場から



3月5日、関東商工会議所女性会連合会、東京商工会議所女性会共催による、元NHKエグゼクティブ・アナウンサーの松平定知氏の講演が行われ、会場の東商ホールは多くの参加者でいっぱいとなりました。小泉清子関商女性連合会長の『その時歴史が動いた』は大好きな番組で学ぶことが多い、いつも必ず観ています。というごあいさつの後、いよいよ講演会の始まりです。多くの拍手に迎えられる登場した松平氏は、穏やかによく響く声で、『その時歴史が動いた』という長寿番組がなぜ視聴者に支持され、高いクオリティを維持できるのかという話をはじめられました。それによると、松平氏と番組関係者の中では、4つのポリシーを大事にしているそうです。

1. 現場を大切に作る番組にする。歴史事項の起きた現場に誰かが必ず行く。
2. 専門家が視聴しても耐えうるクオリティの高い番組にする。軽いノリではなく、専門家も

3. 楽しめる品質を維持する。嘘をつかない番組にする。視聴率は大切であるけれど、そのために良心は売らない。感動を強要せず想像で物を語らない。論拠を持って愚直に作ることで信頼・信用を得る。

4. 歴史の考え方、捉え方を見直す番組にする。歴史は暗記モノではなく、一人の人間の涙や汗、感動が語るドラマであることを伝える。

この中で4番目についての話を、政略結婚の末、実家から攻められたという歴史上の女性、篤姫を例に挙げて話してくださいました。

■時代に翻弄された女性・篤姫

現在大河ドラマにて放映中の篤姫の人生はまさに波乱万丈でした。薩摩藩・島津斉彬の養女であった篤姫は、養父の忠告に従って第13代將軍・家定の正妻となり、家定没後は、天璋院篤姫と名乗り、後に將軍の代わりとなって、倒幕軍に江戸城を明け渡し、徳川時代に幕を下ろします。

今までは、皇女和宮をいじめた「鬼姑(おにばば)」のイメージが強かった篤姫ですが、宮尾登美子さんによって、徳川家を守ろうとした女性という、別の観点から篤姫が描かれました。従来、江戸城無血開城の功労者は勝海舟と西郷隆盛で、2人の男性の功績と言われてきましたが、実は、篤姫が西郷隆盛に手紙を書き、和宮も政府軍に江戸には入らぬように何度も手紙を書いたため、この歴史



的快挙は、本当は4人の合作であったという話が、「歴史の陰に女あり」を感じさせました。

この2人の女性の活躍の事実は、片や2年前島津家の古文書の中から、片や政府軍の子孫邸から相次いで、それらの手紙が見つかったことから判明したのです。

養父(薩摩藩)の政治的策謀のため好まぬところに嫁がされ、その後は、実家から戦いを挑まれるという波乱の人生を歩んだ篤姫は、江戸城を出たあとは、旧薩摩藩島津家からの資金援助の申し出も「志まで政治の道具にされたくない」と断り、質素につましく暮らしたと言っています。

そして、最後に吉川会長からの「人間の宿命を思うと何ともいえない気分をさせるられた。人生如何に生きるかを考える良い機会になったと思います。」との言葉で会場は拍手となり、講演は終了いたしました。

関東商工会議所女性会連合会総会 浦安大会

73商工会議所女性会（971名）の出席により盛大に行われました。



1. 総会

平成20年4月24日
午後1時30分～3時30分
於：東京ベイホテル東急
インペリアルホール

はじめに主催者側として小泉
関商女性連合会長からご挨拶があ
りました。

「最近の日本経済は原油高の
影響が企業にも大きな影を落
としています。女性会は地域社会
のリーダーとしての役割をこれ
まで以上に必要とされるのでは
ないでしょうか。総会員数約600
名のネットワークのもと、平和
でこころ豊かな日本を築くため
の活動や、男女平等参画社会の
実現を目指すため一致団結を
計って参りたいと存じます。」と
話され、山本周五郎の『青べか
物語』にも登場する、浦安の人
情味溢れる強い女性像を紹介さ
れ、その伝統精神は浦安で今活
躍していらつしやる女性達に引
き継がれており、日本精神が薄
れかけている今こそ女性のパ
ワーを発揮して、真の日本人へ
の原点回帰を目指して行こうで
はありませんか、と情熱を持っ
て話されました。

引き続き、浦安総会を運営さ
れた浦安商工会議所の柳内光子
会頭からまた藤田昌宏経済産業
省関東経済産業局局長、松崎秀
樹浦安市長他ご来賓の方々から
のご挨拶がありました。その後

今回出席した73女性会の紹介が
あり、各女性会によってそれぞ
れ色とりどりのスカーフや小物
を使ってアピールがなされまし
た。

議題としては、平成19年度事
業報告並びに収支決算案が承認
され、また、平成20年度事業計
画案並びに収支予算案が提示承
認されました。平成20年度は新
たに浜松商工会議所女性会が加
わり、計75女性会、会員数5925名
となりました。

次の総会は平成21年4月17日
（金）静岡県コンベンションア
ーセンター「グランシップ」で
開催されることが発表され、静
岡商工会議所女性会より、来年
に向けて歓迎のメッセージをい
ただきました。

次に政策委員会報告として、
女性経営者支援事業「チア・ピ
ジネスウーマン2007」の実施報告
が安田純代委員長（千葉商工会
議所女性会会長）より行われ、
最後に小泉会長がNHK大河ド
ラマからの言葉になぞらえて、
「女の道は一本道、地域社会に貢
献することは誇りでございま
す」と述べられ、拍手のうちに
閉会となりました。

2. 記念講演会

午後3時45分～5時

講師にジャーナリストの櫻井
よしこ氏を迎え「女性が輝く時

代」のテーマで講演が行われま
した。櫻井氏は清楚な和服姿で
登場、思わず拍手が沸き起こり
ました。「あと3年ほど経って今
のこの時期を振り返ってみる
と、本当にあの時大変な分かれ
道だったんだな」ということが
わかるほど、今のアジア情勢と
世界情勢は激変しているのだ
です。変化を認識することからこ
の国の為に何をすべきかとい
うことが見えてきます。」と話さ
れ、まずは今、日本を取り巻く
国際情勢の変化について、中国、
アメリカ、ロシアそれぞれの力
関係と、特に日本にとって直接
影響の大きい中国の南下政策に
ついて話されました。また、折
しも日中首脳会談のため胡錦濤
主席が来日するその時期にあた
り、これからの日中関係の問題
点、日本として国の取るべき態
度について言及されました。政
治経済、国際情勢、歴史問題な
ど多岐にわたる情報と共に、日
本を思う熱い思いが伝わってま
いました。

3. 懇親会

午後6時より

本年11月に沖繩で開催されま
す全国商工会議所女性会連合会
の全国大会に当たり、ピーアー
ルの為に日帰りで参加したとい
う沖繩商工会議所女性会の皆様
の熱意が加わり、懇親会は盛況

に行われました。乾杯の挨拶に
立たれた吉川全商女性連合会長
からは、浦安大会開催にご尽力い
ただいた浦安商工会議所はじめ
関係者の皆様へ感謝の言葉が述
べられ、先に総会でご挨拶な
された松崎浦安市長がご紹介さ
れた「浦安」とは水辺と岸辺の境を
意味し、「安」は安らかであるよ
うにと祈りの意味で命名さ
れたというお話しに因み、その地
で今日大会が開催されたことも
意義深く、昨今の日本の状況を
憂い、私たちは日本女性が持つ
本来の「協調、包容力、忍耐力、
育む力」などを発揮しながら、
地域社会に貢献できますよう、
そして何よりも我が国の安寧を
祈って、この祈りの地から心を
こめて乾杯しましょうと挨拶さ
れました。会が進むにつれ、席
を立たれてあちこちの会員の
方々と談笑し、お写真を取られ
る方も多く、懇親の輪が広が
りました。

アトラクションとして、パリ
生まれ浦安在住のシャンソン歌
手、パトリック・ヌジェ氏と、
氏に師事するミカコ氏によるコ
ンサートが催され、ヌジェ氏の
奏でるアコーディオンと二人の
息の合った歌声に、しばし日本
にいることを忘れるひと時でし
た。その後浦安商工会議所女性
会の皆様のお見送りを受け、感
謝のうちに、無事第24回関東商
女性連合会浦安大会の幕を閉じま
した。

平成20年度 会員総会開催

平成20年6月10日 東商ビル・国際会議場

総会
懇親会



6月10日、午後5時から、東商ビル・国際会議場で平成20年度の会員総会が開かれました。144名の会員が参加し、吉川会長を議長として進行了しました。

総会に先立ち吉川会長から、『報恩・感謝・育成』〜競争から協調へ〜を基本理念にスタートした新体制も8ヶ月が経過致しました。私たち商工会議所女性会は、社会に向けて行動をおこし、より良い明日を未来の子供達に残せるよう、この度の『共生（ともいき）のころ』展を通して、メッセージを発信していきたい。との挨拶がありました。

本総会ではまず、井上副会長から平成19年度の事業報告・収支決算について説明があり、監査役の田中洋子監事より「適正に処理されている」旨の報告がありました。次に、吉川会長より平成20年度事業計画・阿久津副会長より収支予算について報告があり、いずれも議件は了承されました。次に、阿久津副会長より平成20年度事業計画・収支予算に於ける『共生（ともいき）のころ』展に於ける『共生（ともいき）のころ』展に於ける補足説明がありました。

『共生（ともいき）のころ』展は、「地球環境・災害共助・教育再生」の社会貢献活動を軸として、女性会が外部に発信して行く為に企画されたイベントですが、開催地選定や、環境サミット開催直前の時期と重なったことで環境省・外務省の後援が得られ、企画が膨らみ、あわせて趣旨に賛同した協賛企業が多数となったため、当初の予算規模を上回る結果となりました。さらに短期間での開催準備の為、会員への説明が充分行き届かない面はありましたが、3回の役員会に於いて説明を重ね承認されてきたとの経緯が報告され、質疑応答の末、賛成多数により承認されました。

さらに平成20年度女性会功労者の表彰が行われ、「全国商工会議所女性会連合会・特別功労表彰者」に4名、第1項表彰者に6名、第2項表彰者に8名の方が対象となりました。

その後、東商ビル4階の特別会議室に場所を移しての懇親会となり、新入会員の紹介や、活発な交流が行われたひとときとなりました。

平成20年度東商園遊会参加のご報告



本年は東京商工会議所創立130周年を迎えるの園遊会となりました。

午後から小雨交じりの天気となった6月2日、縁も深い明治神宮の関連施設である会場の明治記念館は、東商の歴史パネルも飾られ、受付から和やかな雰囲気でした。

会は吉野浩行東商副会頭のご挨拶に始まり「厳しい時代を迎えています。中小企業の元気こそが、乗り越える希望になるのです。」と、熱く語られました。名誉会頭、副会頭、特別顧問、専務理事の皆様のご紹介があり、乾杯となりました。

特別企画と致しまして、フルート奏者 長谷見誠氏と弦楽トリオによるミニ・コンサート、スペシャル赤ワインコーナー（七味唐辛子、べつ甲飴細工、輪投げ）など、そして、雨がありがたみの香も濃い庭園では篝火がたかれ、ピアテラス鶴鶴から、『あづまおどり』を彷彿とさせるような、舞踊集団美尾屋の皆さんの古典・創作新舞踊が眺められました。

お世話になっている方々、ご無沙汰をしている方々にも、お目にかかる事ができ、楽しいひとときは、あつという間でした。

女性会の皆様のお艶やかで華やかなお姿、そして紹のお着物に季節を感じ、帰り道、東京が梅雨入りしたことを知りました。

来年の園遊会も、素敵なお女性のおいで、益々、優雅に華やかに願って居ります。

東商サミット130開催



東京に日本初の商工会議所が誕生したのは、1878年（明治11年）3月の事、その記念すべき130周年を受け、2008年3月24日（月）ホテル・ニューオータニにて「東商サミット130」が開催され、甘利明経済産業大臣、石原東京都知事をはじめ、御手洗富士夫日本経済団体連合会会長、桜井正光経済同友会代表幹事など、政財界要人や会員企業の代表らもご臨席の中、女性会会員も含めて約2400人の東商会員が集いました。

冒頭では、商工会議所創立130周年の歴史が映像で流され、岡村正東商会頭による「今こそ、人も企業も地域も、東商の前身となる「東京商法会議所」の渋沢栄一・初代会頭が提唱した『道徳経済合一説』の趣旨に立ち返って、それぞれの社会的責任を十分理解し、実践するとともに、英知を結集して『個』が光るイノベーションを巻き起こしていかなければならない。」という挨拶がありました。

その後、新たな成長を目指すことなどを掲げた会員企業の行動指針「東商サミット宣言」とともに、会員の結束力強化と、東商が社会と世界に向けた「中長期ビジョン」を策定することが、表明されました。

式典の後、梓みちよ氏のミニコンサートと笑福亭鶴瓶師匠司会による大抽選会というお楽しみが続き、会場を移しての懇親会が盛大に行われました。

「未来へむすぶ私たちの経営」 ～事業拡大または事業承継の方法としてのM&Aの手法とは～ 講師：公認会計士 三輪真之氏

4月16日午後5時より、東商ビル502会議室に45名が出席し、研修部須永明美理事の司会で、第一回研修会が行われました。

M&A（事業の合併と買収）というと、マスコミで騒がれた「敵対的買収」がまずイメージされますが、実際には殆どの事例が友好的なM&Aであり、会社法の改正等の規制緩和により、多様な目的に応じた活用が活発になっています。

新規事業を行う際に事業を買うことは、時間を買うことと等しく、事業を買うことにより会社の規模を拡大していくという経営戦略をとる例が多くなってきました。

但し、成功例を外から見ていただけではわからない落とし穴も多くあります。割安と思って十分な調査もせず買った会社が、実は簿外負債や債務保証を負っていることが後でわかったり、経営戦略や企業風土が大きく異なる相手を買収し、シナジー効果どころか、本業が圧迫されてしまったり、という危険です。事業を買う際には、専門家に相談して、十分にリスクを分析、調査した上で、慎重に決定することが重要です。

一方、事業を売ることは、後継者問題に悩む中小企業にとっても、事業承継の方法の一つとして非常に身近になってきています。

この場合も、買う人がいるからと安易に売っても、よく言われる「ハッピーリタイア」が必ず得られるものではありません。事業を売る場合には特に、実行までに風評が出ないよう3ヶ月くらいのプロセス期間で、内密に進めることが必要です。また、社長の事業へのこだわりを引き継いでくれる買い手を見つけ出し、専門家に相談しながら、事業の存続と、自分のリタイア後の生活保障が十分に守られるように進めることも重要です。

質疑応答

Q1: M&Aの仲介者を選ぶに当たって、まず誰に相談するのがいいでしょうか。

A1: いきなり仲介者の門をたたくのは、誰でも怖い、まずは社内の役員や、顧問税理士、会計士等に相談するケースが多いです。

Q2: 売る場合の値段のつけ方としては、資本金、売上高、ノウハウ力などに対して、どのような値段がつくのか知りたい。

A2: 大きく分けて2つ、つまり過去と未来に分けて評価します。過去というのは、財務諸表などのこれまでの成績で、未来と言うのはどのような事業計画を持っているかを説明してもらいます。その両方の信憑性などを検証し、その他プラスαするものがあればそれを足し、最終的な買収額を決めます。

大変意欲的で難解なテーマでの講演会でしたが、会議室は参加者で埋まり、熱気さえ感じられました。女性経営者たちのまっすぐな眼差しに、講師の先生は圧倒され汗をかきかき、熱弁をふるわれました。



大歌舞伎観劇会

5月19日、東銀座の歌舞伎座で開催された大歌舞伎観劇会（午後4時20分開演）に、100名以上の会員の皆様はじめゲストの方達が参加致しました。



歌舞伎座120年にちなんでの「團菊祭五月大歌舞伎」の演目は

通し狂言 河竹黙阿弥作
あおとぎろしはな の にしきえ
 一、青砥棉花紅彩画 三幕九場 白浪五人男
しかくばしらするのくせまい
 二、三升猿曲舞 長唄囃子連中



幕間には女性会の為のアナウンスが入り、地下食堂「花道」で皆様一同に会食しました。

はらはらするお芝居からか、ほっとした様子で笑顔が見えました。

弁天小僧菊之助が追い詰められ、最後を迎える筋立てですが、舞台大道具の情緒あふれる川辺の風景なども見るにつけ、現在の地名に重なる土地を訪ねたいものだ、その土地は今…など、話題があがり交流のひとつとなりました。

後半は、以前交流部の視察会でも訪れた、浅草寺由来の出でくる楽しい踊りで、江戸の祭りの賑わいに思いを馳せながら鑑賞しました。

演題通りの團菊祭に相応しく、素晴らしい艶やかな役者姿や舞台の様子など、日本古来の伝統文化に魅了された一日でした。

「中央防波堤埋め立て処分場視察」 および「普通救命講習」

4月9日花冷えの朝8時50分の勝どき駅に「ゴミ処理の今を見て、環境問題と環境型社会を考えよう」と「助かるはずの命を救うためにも覚えておこう」というスローガンのもと「中央防波堤埋め立て処分場視察」および「普通救命講習」に38名が集合致しました。



まずは、ホテルマリナーズコートで、その昔、夢の島と呼ばれた埋め立て処理場へと向かいました。最先端技術によるゴミ処理施設は、私たちの想像をはるかに超えたゴミの山との戦いを清潔にシステムティックに処理してくれるものでした。限りある貴重な処分場を一日でも長く使用し、かけがえのない地球環境を次の世代へと引き継いでいくために、日夜格闘する作業員の姿を拝見し、あらためて、私たちができることは「ゴミを減らすこと！」と痛感しました。たとえどんな小さなゴミであっても作らない、出さないという強い意識を持って生活することの大切さを学びました。

次に、施設から埋立地へとバスで移動しました。車窓からの景観は小高い丘をカラスが舞い飛ぶまさにゴミの墓場でした。その土地から染み出た水は100年経っても浄化されないそうです。

その後、バスはホテルへともどり美味しい洋食のランチを取り、午後の部は、3時間の救命講習を受講しました。東京消防庁の講師のもと、AEDを含む応急手当の仕方を5グループに分かれて、一同、目を凝らしながら熱心に学びました。



後日、救命技能認定証が各自へ郵送されてまいりました。

「先人の生き方に学ぶー上杉鷹山ー」

ケネディ元大統領が尊敬した日本人

講師：日本政策研究センター 岡田幹彦氏

5月14日午後6時より、東商ビル502会議室にて、第2回研修会が行われ、38名が参加しました。最初に吉川会長より、『為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり』と上杉鷹山の言葉にあります。ともすると私たちはできない事の言い訳をしていますが、まず、できることから探していく。そのヒントを今回のお話から学んで頂きたいです。」との挨拶がなされ、講師の日本政策研究センターの岡田幹彦氏のお話が始まりました。



上杉鷹山は、今から40数年前、アメリカのケネディ大統領が日本人の記者団と懇談した際、尊敬する日本人として、その名前を挙げたことから、一躍注目されることになりました。彼は、10歳で上杉家の養子となり、17歳で再建不可能と言われた日本一の貧乏藩の藩主となります。そして、最初に行ったことは、諸事大倏約でした。例として、一汁一菜の食事、木綿の着物の着用、奥女中50人を9人に減らすなどでした。こうした政策も大切なことですが、指導者として優れていたのは、何としても人民を救済せんとする基本的な姿勢、燃えるような深い愛情と責任感が、みなぎっていたことでした。

こうして、米沢藩再建への苦難の道が始まります。着手早々に江戸藩邸の焼失、老臣たちの反逆、そして大飢饉と次々に財政を圧迫する出来事が生じた約20年間は、まさに大苦難期でした。しかし、農業の再建や諸産業の振興など地道な努力で、それを乗り越え、藩主となって30年後に再建が成功するまでに至りました。

そこから具体的に、どのようなことが奇跡的な再建につながったのかとお話が続きました。それは、鷹山の無私献身の姿勢が立派であったことはもちろん、経済の立直しの根本は、人心の立直し、教化にあると察し、指導にあたったこと。さらに、急いで成功しようと思うのではなく、50余年間のたゆまざる努力と忍耐があったことが挙げられました。

また、鷹山がどのような人間愛と人格を備えていたのかを、部下である藩士や薄幸の妻、側室との逸話により語って下さり、深く知ることができました。そして、鷹山と師、細井平洲とのかかわりは、人の心のつながりはかくあるべきと教えて頂いたと思います。

最後に何人かの方から質問があり、丁寧に応答して下さい、会場は和やかな雰囲気に包まれ、終了しました。参加された方々のお顔から、鷹山の生き方に感動を覚え、何かしらのヒントがつかれたように見受けられました。



2008サマーセミナー

2008 SUMMER SEMINAR

六本木 国際文化会館



8月27日(水)午前10時、女性会会員約100名が参加しての『2008サマーセミナー』が開会されました。

はじめに吉川会長より挨拶がありました。

「先日マスコミの方とお会いする機会があり、話題に上ったのは『企業の戦略が、これまでより大きく変化し、誰もが危機感を持っている』ということでした。こういう時を乗り越えていくには、自分自身を変えていく。ここが最大のポイントになっているように思います。本日は、情熱にあふれた渋沢栄一翁についてのお話、また各先生方からお話をいただいて、私たちの糧にしたいと思います。」とのことばから、セミナーは始まりました。

本日の進行についてオリエンテーションが行われ、「基調講演」そして午後に「4つの分科会」によるセミナーが行なわれ、それぞれの参加者が研鑽に励みました。

「東商130周年を記念しての渋沢栄一翁」

講師 作家 茶屋二郎（山科 誠）氏

日本BS放送株式会社 代表取締役会長



はじめに、「私の『茶屋』というペンネームは家業のおもちゃ屋が由来です。」と和やかな自己紹介をして下さった後、企業経営者の視点から、渋沢栄一翁が成功された後の話よりも、特に「10代から20代に彼がどのような人間性や価値観を培って成功への要因を身につけたか」という視点で、『若き日の渋沢栄一』の姿を浮き彫りにする基調講演が始まりました。

1840年 渋沢栄一は、埼玉県深谷市の豪農に生まれました。この時代は幕末の動乱期、その波を間近に感じて多感な思春期を過ごします。そして24歳の時、徳川家の政策に矛盾を感じ倒幕を志して、従兄弟の喜作と共に薩長の若者が集まっていた京都へ出向きました。ひとまず一橋家に仕官し、やがて薩長藩へ仲間入りしようとしていましたが、意に反して一橋（徳川）慶喜の弟とパリの万国博覧会へ行くよう命が下ります。パリ滞在中では、日本で大政奉還があり、江戸時代の終焉とともに明治政府がスタートすることになりました。帰国後、明治政府の中心は薩長出身の人で固められており、倒幕

された徳川家に仕えているわが身では、出る幕もないと思ひ、栄一は国許に帰ろうと決意します。その決意を持って徳川家がある静岡藩へ挨拶に行ったところ、彼の能力をかつていた徳川慶喜から思いがけず、大蔵省長官を命ぜられます。

その彼に、どのような能力があったのでしょうか。当時の武士出身ばかりの中では、彼も武士でありながら、経済観念にたけた能力が抜きん出ていたようでした。そしてその後、その能力が彼をさらに時代を作る力へと、押し上げることになりました。

当時の世の中は、徳川幕府から明治政府へ変わったことで、膨大な量の仕事がありました。その中で彼が成した代表的な事業には、「納税をお金で行い、しかも税率を統一するというシステム」さらには、「戸籍の整備」「郵便、鉄道の開設」「複式簿記の導入」「新貨幣と新紙幣の発行」などがあり、近代日本の経済基盤のシステムを造ったと言えます。このような仕事を通じ、同時に多くの人脈も広がっていくこととなりました。

渋沢栄一の人間性は、人や体制に依存しない自立精神にあふれ、卓越した行動力、そして強い家族・兄弟愛、厚い忠義心、また商才にたけていたことがあげられます。その人生観は「武士道は実業道なり」という言葉に集約されるように、商売も武士道と同じ、つまり算盤と倫理観や道徳の両方を持たねばならないと教

えています。また「能く集め能く散ぜよ。」とお金の使い方についても戒めています。さらには、富をなす方法として、「第一に社会に役立つ事を考える」「人を虐げる、害を与える、欺く、偽らないこと」「それぞれの職でベストを尽くすこと」また、「道徳に基づいて行動しなければ、お金はつけれない」とも述べています。言い換えれば、お金よりも仁義、人徳が優先しなければならぬということなのです。

また、彼はなぜ商工会議所を創ったのでしょうか。幕末、日本は開国を迫る外国から世情に疎い国とみられ、関税など様々な分野で不平等な扱いを受けていました。明治になり、それまでの通商条約等に表される不平等な意識を変えたい、このことから伊藤博文が、渋沢栄一に依頼、世界に追いつけ、追い越せの意図から日本の世論を代表するため設立されました。

その後も数々の要職に就かれた後、77歳で奉仕活動以外のすべての職を辞し、『論語と算盤』を始め、『徳川慶喜公伝』を上梓しました。後昭和6年92歳で永眠しましたが、葬儀が行われた青山斎場には、当時としては珍しかった自動車が140台も並び、多くの弔問客が列をなしたそうです。

※本文では、渋沢栄一氏ほかの方の敬称を略させていただきます。

中国茶の愉しみ方

有限会社カメラリアエンタープライズ
代表取締役 佐野由美子氏

20年間にわたり中国茶講師をされている佐野由美子先生をお話し、中国茶の種類、分類の仕方、おいしいお茶の淹れかたなど様々な角度から、中国茶の愉しみ方を教えていただきました。

講師の社名にある「カメラリア」は「椿」の意味ですが、お茶の木は1種類、カメラリアシナンシスというツバキ科の木だそうです、なるほどそうだったのかと、うなずきます。

講演の合間、茶芸の披露や3種類のお茶の試飲もあり、馥郁たる香りに包まれる中「中国茶」を耳からそして味からと楽しむことができました。

やはり、お茶は直接身体の中に入るものであり、健康を重視する経営者の皆さんが多いこともあって熱心に話を聞き、質問も活発に出ていました。

佐野先生が一番強調されていたのは「中国茶を家庭で気軽に、そして自由に楽しんで下さい」ということです。普段の暮らしの中で、毎日なにげない時間をすごしながら中国茶を味わっていただきたい、そして中国茶を味わうことは難しいことでなく、暮らしの中で自然に楽しむことができることです。という話でした。

話の中で中国茶の基本的な楽しみ方は、1煎目は香りを楽しみ、2煎目で味を楽しむ。この2煎目が一番おいしく、その後の3、4煎目では味が広がっていきます。そして5、6煎目まで味わうことができるとのこと。この味わい方もご説明下さいました。

講師の佐野先生は長い間中国茶を飲まれているそうです。そのせいか疲れていても病気になるにくく、免疫力がついていると感じていらっしゃる。このことをご自身が、身を持って実感されているとの話でした。

また、「医食同源」という言葉にあるように、自分の体質に合ったものを見つけて続けることの大切さを教わりました。

その上、人の身体・体質には『陰と陽』があり、体質の陰陽を見極めた上で、陰（冷え性、血行が悪い）の体質の人には身体を温める作用のある陽性のお茶が合い、陽（のぼせ性）の体質の人には熱を取る陰性のお茶が合うということも話され、会場の皆さんも新たな発見をされたようでした。

中国茶の道を極めていらっしゃる佐野先生のお話しは、柔らかな口調の中にも凛とした風格があり、受講者一同そのお話しに引き込まれる時間でした。



他人事ではない地震防災

防災推進委員会代表 中浜慶和氏



世界一の地震大国である日本は、4つのプレート（地球の表層を形づくる岩石の層）がひしめき合って隣接する上に存在し、いつ地震が発生しても不思議ではなく、文部科学省の発表によると、今後30年以内に発生する大規模な地震の発生源のうち、宮城県沖が99%、東海沖は84%、首都圏では70%という怖い確率だといわれています。

お話の冒頭では関東大震災のようなマグニチュード8クラスの地震が起こるのは来世紀ということで、少し安心致しました。しかし、もし首都圏でマグニチュード6～7クラスの地震が発生した場合でも、過去のデータにもとづくと、6000人から7000人の死者が出るであろうと発表されているのです。

そこで、もし震度6の直下型の地震がおきたらどうなるのでしょうか。また激震の中でなができるのでしょうか。阪神・淡路大震災ではアンケートによると「何も出来なかった」40%、「ふとんをかぶった」30%だったそうです。結局人間は激震が起きたら、身体が硬直し何も出来ないということがわかりますが、地震による被害を少しでも減らすために、日ごろからの備えが重要だということです。

大地震から学ぶ4大対策として阪神・淡路大震災では死者の9割が建物の倒壊による圧死と焼死です。その6割が地震直後の午前6時までに亡くなっています。この時間は発生からわずか14分だそうです。

この阪神・淡路大震災では、昭和23年以前の2階建ての建物は倒壊または壊滅しました。中には昭和60年以降に建てられた中にも全壊したものがありません。そのことから、まず**1番目**に建物の耐震診断、耐震改修こそ必須の地震対策であることがわかります。実は日本は世界一の耐震技術を持っている国です。

2番目には建物内の安全対策として家具の固定・転倒防止策をとることが重要です。現在はホームセンターなどの店舗で、種類の転倒防止器具も豊富に揃っています。大切な家族の命を守るため、家具に転倒防止器具を取り付け、壁などにしっかりと固定してください。

3番目は火災による被害です。常時、火災警報器や消火器などの取り付けが必要です。

4番目は家族相互の安否確認。「災害伝言ダイヤル171」やあらかじめ家族が待ち合わせできる場所を決めておきます。現在は携帯電話で安否確認を出来るサービスがありますので活用致しましょう。また経営者にとっては従業員の安否が重要な課題です。いざというとき役立つように従業員別の居住マップと帰宅ルート表を作成しておきましょう。

拝聴する会員の皆さんは、中浜先生の説明を熱心に聞かれ、先生ご自身とご家族が大地震にあわれたにもかかわらず、終始笑顔でみなさんを和ませながら語られる先生のお話は大変ためになりました。

もう一度我が家の防災を見直し、転倒防止器具や非常用の食料や水など日ごろからの備えが大切だということ、今回の講演で改めて教えて頂きました。

分科会

4

ごきげんでいれば 125歳まで生きられる

三番町ごきげんクリニック 院長 澤登雅一氏

澤登先生は、血液内科がご専門ですが、日本赤十字社医療センターで勤務医として白血病の治療をされて、多くの患者さんの人生と向き合う中で、病気になる前の予防がいかに大切かを痛感され、アンチエイジング医療に関心を持たれたとの事です。

アンチエイジング医療とは、体の内面の機能を健康に若く保つための医療のことで、病気を治してもらおうという受身的な医療ではなく、自らが積極的に取り組むもの。健康は偶然の賜物ではなく、意思と行動が伴うことによつて初めて手に入れられるものだそうです。

記録上の世界一の長寿は122歳の女性で、その方は、100歳を超えてから自転車に乗れるようになったのだそうです。講演のタイトルの、「125歳まで生きられる」といわれても、私たちのそのイメージは、体が思うように動かず、年老いて、ただ息をしているだけの状態をつい想像しがちですが、先生のおっしゃるアンチエイジングの125歳は、人生を楽しむ元気な125歳です。人間の平均寿命は年々上昇しています。日本では50年前と比べて、男性は20歳、女性は24歳も「平均寿命」が延びました。但し、アンチエイジングで大事な年齢は「健康寿命」（病気で苦しむことのない元気な状態の寿命）です。その、平均寿命と健康寿命との差は7年もあるのだそうです。この差をゼロとするのがアンチエイジングです。

アンチエイジングの3本柱は、血管を若返らせること、身体を錆付かせないこと、良好な栄養バランスを保つこと、です。ストレスや、不規則な生活、運動不足、タバコや過度の飲酒、偏った食生活は、このアンチエイジングの三本柱を崩す原因になります。また、知らないうちに重金属汚染などで、健康障害が引き起こされていることもあります。

また、一般的な健康診断の検査結果では基準値の範囲内にあるものでも、実はたんぱく質の摂取量が不足していたり、ビタミンが少なく体調不良の原因になっていることがあります。バランスのよい食生活の上に、アンチエイジング専門の医師の指導のもと、不足分を補うサプリメントや点滴療法を行うと効果的だそうです。

また、今日からできるアンチエイジングとして、すぐに実行したいことをまとめていただきました。

1. 運動は次の3つをセットで行う。

- ①有酸素運動（ジョギング、ウォーキング、水泳、エアロビクスなど）
- ②筋肉トレーニング（スクワット、腹筋など）
- ③ストレッチ（血行をよくするのだそうです）

2. 食事

- ①低炭水化物・低脂肪・高たんぱく質
- ②間食はできるだけ避ける
- ③寝る前3時間は食べない
- ④一日3食、規則的に摂る

3. 水分

- ①一日に体重の30分の1を目標に摂る
- ②アルコールやカフェインを多く摂る人は特に水分を多く。

寝る前のコップ一杯の水は命を救う！

（就寝中は脱水症状気味なので、水を必ず飲んでから寝てください）

4. 睡眠

- ①一日に7時間前後がよく、寝不足も寝過ぎも寿命は短い。
- ②真っ暗にして寝る。

先生の講演の後、受講された方からたくさんの質問が出され、女性経営者の健康への関心の高さが窺われました。

既にアンチエイジングを実践していると思われる方が多い東商女性会ですが、今日のお話を伺って、「ごきげん」な125歳が、この中から出現するだろうことを確信いたしました。



分科会

3

「ひとりの老後」はこわくない SSSの世界

作家 松原惇子氏

講師の松原氏は、大学を卒業するとすぐに結婚しましたが、馴染まず、23歳で離婚し、渡米しました。

しかし、そこでも自分の生き方に疑問を抱き30歳で帰国、それから自分探しを続け、さまざまな人との出会いの中で、ともかく自分の考え方をしっかり持って、人と迎合しないことを決意しました。

そして自分の住まいを買うことを決心し、マンションを購入しました。この時期に独身の女性がマンションを購入するということは珍しく、その後39歳で自分の茨の人生と決心を書いた「女が家を買うとき」を出版し、ドラマにもなりました。それを機に文筆業に専念し、その傍らで、40代のときにNPO法人の「SSSネットワーク」を立ち上げました。



「SSSネットワーク」は「シングル・スマイル・シニアライフ」の略で、家族の有無に関係なく、個を生きる女性を応援するためのネットワークです。苦勞を味わった「女性達の集い」などの会合を催し、さらに共同墓の建立も手がけています。

「SSSネットワーク」の活動で松原氏が得たのは、とにかく常に文句の多い人がいたり、半面何につけても常に感謝してくれる人がいたりして、その人たちの言動は見ているとずっと変わらないということへの気づきです。

「SSSネットワーク」は困っている人のための会ですが、相談者の中には何かに執着心の強い人が大半であり、何かをしてもらうことを望み、自分からは人にしたくないという考えの人もあります。「思いやりは机上の学問でなく社会学習」ではないでしょうか。「SSSのパーティ」でいつもクレームばかり言う人は、たいがい寂しい人生の人のように思えます。クレームというものに対して、人はそれなりの表情にならざるを得ず、相手の対応はその方自身が作っているのです。そういったことの解決を考えると、不安を取り除くためには、自分の考え方を

変える必要があることに松原氏は気づきました。

そして何かに備える、おびえるということを取り除いて、自然に生きることの大切さを知人の名医から学んだそうです。良い生き方は欲張らない生き方、楽天的で明るいこと、にこにこしていることだそうです。

実は人は苦しんでいるからアイディアが出るのだし、他人とも出会えます。自分がその気持ちで生きていけば、大切な家族にも恵まれ、良き友人が出来る筈です。例えば松原氏は活動して年下ながら良き友人達に出会いました。ですから今は、ご自分を指導してくれた先輩が「自分に恩を返さず、若い人に恩を返してくれ。」と言っていた通りにしていますということでした。

そして最後に「私は執着しない生き方、こだわらないという考え方が出来て幸せです。自分の生き方をしっかり持って生きれば、良き人と出会えるし、一人の老後は不安ではありません」と締めくくられました。松原氏の講演は、ユーモアたっぷりの本音のトークで、会場からは終止笑いが絶えず、終了時には拍手喝采でした。

ミニ・コンサート



分科会での聴講を終え、参加者一同は会場を岩崎記念ホールへ移しました。この会場では、交流部会田ミヨ子会員の司会により、若手演奏家（隠岐速人氏・依田幸司氏・高木香那氏）のトリオによるミニコンサートを鑑賞しました。

オペラ『フィガロの結婚』からの抜粋曲をはじめ全7曲が、テノールの歌声とヴァイオリンとピアノ演奏の素晴らしい組み合わせとなって、明るい会場いっばいに響き渡りました。

心に染みるような躍動感に満ちた熱い演奏の数々に、場内は感動に溢れ、心豊かなひとときを過ごすことができました。



懇親会

引き続き榊山ホールへ移動し、交流部若林和子リーダーの挨拶、井上副会長の乾杯の発声で、研修後のほっとした雰囲気をしめくくる懇親会が開かれました。

ご参加の皆様は、国際文化会館庭園のここが都心とは思えぬほどに深く美しい緑や、飛来する野鳥の姿を眺めながら、上質なお料理に舌鼓を打ち、終始和やかなムードの中、更なる交流を深める場となりました。

女性会の益々の発展と会員の皆さんの活躍を祈念し、最後は研修部市瀬優子リーダーの挨拶で閉会となりました。



研修部 市瀬優子リーダー



交流部 若林和子リーダー



井上象英副会長



サマーセミナー

10:00~10:20	オリエンテーション	15:00~16:30	分科会3
10:20~11:50	基調講演「東商130周年を記念しての渋沢栄一翁」 作家 茶屋二郎（山科誠）氏		『『ひとりの老後』はこわくないSSSの世界』 SSSネットワーク代表 作家 松原惇子氏
11:50~12:00	移動		分科会4
12:00~13:00	昼食		「ごきげんでいれば125歳まで生きられる」 三番町ごきげんクリニック 院長 澤登雅一氏
13:00~14:30	分科会1 「他人事ではない地震防災」 防災推進委員会代表 中浜慶和氏	16:30~16:50	移動
	分科会2 「中国茶の愉しみ方」 有限会社カメリアエンタープライズ 代表取締役 佐野由美子氏	16:50~17:30	ミニコンサート 若手演奏家によるクラシックセッション
14:30~15:00	コーヒーブレイク	17:30~17:40	移動
		17:40~19:40	懇親会



5

回は皇居の正門にある二重橋のご紹介です。皇居内には、天皇皇后両陛下のお住居である御所をはじめ、諸行事を行う宮殿、宮内庁関係の庁舎などがあり、その一角が皇居東御苑です。

環境省皇居外苑管理事務所のホームページを見ると『皇居前広場から正門を経て宮殿へ至る濠に2つの橋が架かっており、手前の橋が「正門石橋」、奥の橋が「正門鉄橋」です。「二重橋」は一般にこの2つの橋を総称して言われていますが、厳密には奥の橋を指します。』とあり、もともとは木造で「下乗橋」と言

われ、橋桁を支えるため、中途に台があり二重構造であったことからこの名がつけられたとされています。明治21年にドイツ人ウィルヘルム・ハイゼの手で鉄の橋となり、現在の橋は昭和39年6月、新宮殿造営の際に架け替えられた



ぶらり

東京の旅

[皇居 二重橋]

ものです。橋の奥に見える美しい二重の櫓は、西の丸を築いた際に伏見城から移築したもので、「伏見櫓」とか「月見櫓」と呼ばれています。手前の石橋は岡山産大島花崗岩造り、橋の渡り35.3m、幅12.8mで、明治20年12月の竣工で

す。橋脚は円弧のアーチを2つ並べて造られ、そこからめがね橋と呼ばれるようになりました。これらの橋は、新年の一般参賀や外国賓客の皇居訪問等宮中の公式行事の際に利用されます。

新入会員とのランチミーティング

5

月26日午前11時20分より、平成20年度第1回新会員とのランチミーティングが、東商ビル401会議室で開催されました。今回は52名(新会員19名)の出席者で、幕の内弁当を頂き、コーヒ

を飲みながらのミーティングでした。吉川会長の、「先人の想いを今の時代に引継ぎ、競争より協調の時代への、自身の向上を。」という挨拶の後、井上副会長より交流部・研修部の、阿久津副会長より社会貢献部・ビジネス事業部の各部を紹介されました。続いて役員と会員、新会員の自己紹介が行われ質疑応答の時間では「人会して良かった点」の質問に、活躍されている会員から、ビジネスのチャンスだけでなくパワーをいただけ、人との結びつきがあります等の素晴らしい答えがあり、充実した会も交流部若林リーダーの閉会の挨拶で終了致しました。





ゴルフ同好会 ゴルフ同好会報告



平 成20年度ゴルフ同好会第1回コンペが、4月22日「桜ヶ丘カントリークラブ」にて参加者28名で開催され、第15回コンペは恒例の蓼科フォーラムに宿泊し「フォレストカントリークラブ三井の森」で行われました。蓼科でのゴルフは早くも今年で6回目になります。当日は素晴らしいお天気にも恵まれ遠くに八ヶ岳連峰、アルプスの雄大な山々の景色、標高約1400メートルのコースは高原の爽やかな風が涼しく、皆うれしそう。いつもの事ながらしっかりとゴルフマナーの勉強をしながらスタートです。蓼科フォーラムでの懇親会では時間も忘れて楽しい一時を過ごしました。



COVER PHOTO 撮影者：リサ・ヴォート (LISA VOGT) <http://www.lisavogt.com/>

1964年米国ワシントン州生まれ。地球環境の変化により厳しい生存環境に追い込まれている南極ペンギンや白クマの写真を撮り続け、環境問題への取り組みを訴える写真家。温暖化の影響で北極の氷が溶け、母クマのアザラシ狩りがうまくいかず、飢えと吹雪の中で力尽きる小熊が増えている。愛情あふれる視点でとらえた被写体の姿がほほえましいほど、語りかけてくる切なさは大きくなる。英国BBCより2004年の写真家賞を受賞。日本ではNHKのラジオ英会話講師としても活躍。

行事

東商女性会の今後の主な行事予定
平成20年12月

■1月19日(月)
新年懇親会

〈於 帝国ホテル〉

■2月25日(水)

横浜商工会議所女性会主催
横浜開港150周年記念
「前夜祭晩餐舞踏会」

〈於 ホテルニューグランド(横浜)〉

■4月17日(金)

関東商工会議所女性会
連合会総会(静岡大会)

〈於 グランシップ(静岡)〉

訃報

■小泉泰子様

(第一倉庫株式会社・会長)

平成20年5月3日ご逝去 (享年96歳)

■井関栄子様

(株式会社イセキ・代表取締役社長)

平成20年9月1日ご逝去 (享年62歳)

この冊子に携わった人々

相坂喜久代	石野 康子
井上 象英	大津 洋子
岡本美智子	奥永 久美
金岡真由美	金原 好紀
郷農 彬子	近藤 洋子
佐藤 光子	鈴木 紀子
須永 明美	高田 悦子
槌谷 佳子	林 克美
中西志保美	椿 香都恵
伏屋ひろ美	丸田 清美
三浦 玲子	宮川 則子
保田 和江	

(以上お名前は50音順)
田中L.洋子

編集後記にかえて

東商LADYでは、国内外で活躍する写真家の皆様より表紙写真を公募しております。写真は表紙用にデザインのうえカラーでいねいに印刷され、その小判のモノクロ写真とともに写真家のプロフィールが巻末に載ります。

個展などを予定される方は、これはという一枚で、東商LADYの表紙を飾ってみませんか。本誌は東京を中心に、およそ600余りの、主に女性経営者や代表が活躍する企業、団体に送付されています。テーマは特にありませんが、今回の表紙作品のように、美しさの向こうから、現代社会への問いを投げかけてくるような作品が期待されます。

次回発行は2009年3月末を予定しております。どうぞふるってご応募ください。

応募方法等詳細は、東商女性会ホームページ<http://joseikai.tokyo-cci.or.jp/>より、メールフォームにて「表紙写真」としてお問い合わせください。

また合わせて、読者の皆様からの本誌のご感想も、受け付けております。表紙へのご意見もお送りください。
東商女性会 情報広報部リーダー：田中L.洋子



東京商工会議所は2008年、創立130周年を迎えました



東商LADY

2008年11月30日 第14号

発行所

東京商工会議所会員交流センター

発行人

東京商工会議所女性会

会長 吉川稲美

編集人

東京商工会議所女性会

<http://joseikai.tokyo-cci.or.jp/>

情報・広報部

表紙写真: Lisa Vogt 『White Gift』より